

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 168-8686
 住 所 東京都杉並区永福3-57-14
 氏 名 サミット株式会社
 代表取締役社長 服部 哲也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	サミット株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市多摩区中野島6-29-8		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	1	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	食品スーパーマーケット		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,197	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成30年度 ～ 平成32年度 (報告年度 平成31年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名 (法人にあっては、その代表者) を記載し、押印することに代えて、本人 (法人にあっては、その代表者) が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,568 t-CO ₂ (調) 3,481 t-CO ₂	(実) 3,679 t-CO ₂ (調) 3,589 t-CO ₂	(実) 4,153 t-CO ₂ (調) 4,052 t-CO ₂	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) 3,461 t-CO ₂ (調) 3,377 t-CO ₂
削減率		(実) -3.1 % (調) -3.1 %	(実) -16.4 % (調) -16.4 %	(実) % (調) %	(実) 3.0 % (調) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積×営業時間		単位	m ² ・百万h	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	43.33	43.33	44.93		42.03
削減率		0.0 %	-3.7 %	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	18年12月に生鮮プロセスセンターが稼働し、排出総量は増加している。
第2年度	18年12月に稼働したプロセスセンターが通年稼働しているため、排出量は増加している。また、対象店舗の売上は昨年度比平均2%増加しており、商品化量も増えていることも、増加要因であると考えられる。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	(1)照明設備の運用管理 ①消灯管理の徹底(時間帯による消灯・間引) ②LED照明の導入(2店舗に追加導入し、全4店舗完了予定) (2)空調設備の運用管理(制御温度の監視) (3)冷凍・冷蔵設備の運用管理(点検、フィルター清掃、ヒートクレーマーの夜間停止) (4)デマンドメータの活用(一部店舗) (5)冷凍ケースへの引戸・ナイトカーテンの活用 (6)管理標準の整備
	第1年度	(1)照明設備の運用管理 ①消灯管理の徹底(時間帯による消灯・間引) ②LED照明の導入(1店舗に追加導入) (2)空調設備の運用管理(制御温度の監視) (3)冷凍・冷蔵設備の運用管理(点検、フィルター清掃、ヒートクレーマーの夜間停止) (4)デマンドメータの活用(一部店舗) (5)冷凍ケースへの引戸・ナイトカーテンの活用 (6)管理標準の整備
	第2年度	(1)照明設備の運用管理 ①消灯管理の徹底(時間帯による消灯・間引) ②LED照明の活用 (2)空調設備の運用管理(制御温度の監視) (3)冷凍・冷蔵設備の運用管理(点検、フィルター清掃、ヒートクレーマーの夜間停止) (4)デマンドメータの活用(一部店舗) (5)冷凍ケースへの引戸・ナイトカーテンの活用 (6)管理標準の整備
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	特になし
第1年度	特になし
第2年度	特になし
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ISO14001を全社で取得（新店は年1回の定期審査で追加認証） 2. 川崎市リサイクルエコショップに登録 3. 廃棄物のリサイクル実施（資源の店頭回収、バックヤードで排出される廃棄物のリサイクル） 4. マイバッグ持参の推進 5. 国産木材利用の促進または森林整備活動
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. ISO14001を全社で取得（新店は年1回の定期審査で追加認証） 2. 川崎市リサイクルエコショップに登録 3. 廃棄物のリサイクル実施（資源の店頭回収、バックヤードで排出される廃棄物のリサイクル） 4. マイバッグ持参の推進 5. 国産木材利用の促進（赤ちゃん木育広場の普及支援）
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. ISO14001を全社で取得（新店は年1回の定期審査で追加認証） 2. 川崎市リサイクルエコショップに登録 3. 廃棄物のリサイクル実施（資源の店頭回収、バックヤードで排出される廃棄物のリサイクル） 4. マイバッグ持参の推進 5. 第3期サミットの森植樹活動を開始
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	4,001	t-CO ₂
(調)	3,891	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
サミットストア南加瀬店	川崎市幸区南加瀬3-40-3	5811	各種食料品小売業	1,129 t-CO ₂
サミットストアクロスガーデン川崎店	川崎市幸区小倉5-19-23	5811	各種食料品小売業	925 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	1
300～400kl 未満	1
200～300kl 未満	1
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--